



さとの島 銀河芸術祭

2021 Sado Island
Galaxy Art Festival

過去と
未来の
帰港地

2021 8.8 ⑧ → 10.3 ⑧

作品鑑賞時間 | 10:00-17:00 | 会場によって鑑賞時間が異なる場合があります。

会場 | 佐渡島内複数箇所 詳細はWebサイトをご覧ください。

[主催] さとの島銀河芸術祭実行委員会 / 一般社団法人佐渡国際芸術推進機構 / アース・セレブレーション実行委員会

[プロデューサー] 吉田 モルト [アドバイザー] 榎木 野衣 / 宇川 直宏 / 小川 弘幸 [インディペンデント・キュレーター] 菊田 樹子

イベント

A FRACTAL CAMP(キャンプフェス)



日時/2021年9月18日(土)~19日(日) ※9/18~20の3日間、会場内キャンプ宿泊可能

場所/大野亀

入場料(予定)/18日チケット¥8,000 19日チケット¥12,000 2日間通しチケット¥18,000

※テントレンタル別料金にて用意有り

さどの島銀河芸術祭のイベント企画として、新しい形のキャンプフェスが行われます!

本イベントのディレクションを務めるのは、新潟/三条市に拠点を構えるアウトドアブランド スノーピークの山井梨沙氏。佐渡の北の果てに位置する、標高167mの亀の形をした大きな一枚岩“大野亀”を舞台に、出演アーティスト・ゲストたちによる「食・映像・音楽」と「佐渡の自然・文化」の融合を2日間異なるプログラムにてご堪能いただけます。

地域文化に根付いた伝統芸能・伝統工芸をパフォーマンスライブという体験価値に変え、佐渡とひととの強固なコミュニティをつくります。

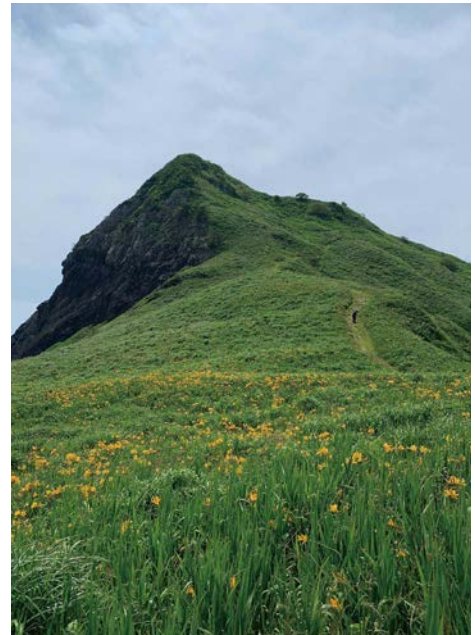
イベント概要(予定)

9月18日

- さどの島銀河芸術祭シンポジウム
- 鬼太鼓×バルバジニア 食パフォーマンス
- 豊田利晃監督『戦慄せしめよ』映像上映

9月19日

- ライブパフォーマンス
出演アーティスト: 灰野敬二、OLAibi、角銅真実、moodman、solo solo solo ほか
- DOMMUNE Presents「LANDSCAPE MUZAK」PROJECT SADO #1
テリー・ライリーライブパフォーマンス
「WAKARIMASEN」with 鼓童、Salyu



テリー・ライリー



灰野敬二



角銅真実



OLAibi



宇川直宏&DOMMUNE

B 佐渡鷺流狂言・手話狂言鑑賞会

日時/2021年10月2日(土)

場所/大膳神社能舞台(佐渡市竹田)

入場料/大人 2,000 円、小学生以下 1,000円(予定)

演目/手話狂言「成り上がり」「墨塗」
佐渡鷺流狂言「萩大名」

内容/聞こえる人も聞こえない人もみんな一緒に楽しめる狂言。

手話狂言は、昔から継承された狂言特有の動きに、手話の豊かな表現力が加わった新しい魅力のある狂言です。

伝統的な佐渡鷺流狂言と個性豊かな手話狂言の両方をお楽しみいただけるイベントです。



佐渡鷺流狂言研究会



日本ろう者劇団

C

イーサン・エステスさんとつかって、かんがえる ゴミ×アートワークショップ

日 時／2021年8月28日(土) 13:00～15:00

場 所／佐和田商工会館(佐渡市中原328-3)

参加料／500円

対 象／小学4年生～高校3年生(保護者同伴可)

内 容／身の回りのプラスチックゴミを持ち寄り、オリジナルのグッズプリントを作ります。

持ち物／版材にするゴミ(ペットボトルなどのキャップ、緩衝材(プチプチ)、ビニール袋など)

転写したいもの(Tシャツ、トートバッグなど)

お申込／QRコードから参加者情報を入力して送信してください



※エステス氏は来日せずオンラインでの参加です。



D

シンポジウム

日 時／2021年9月18日(土) 13:00～(予定)

場 所／大野亀

内 容／「with コロナ時代における離島での芸術祭の在り方」というテーマで、芸術祭のアドバイザーや芸術関係者がシンポジウムを行います。今年は、FRACTAL CAMP EVENTの会場内で開催します。

アート・ツアー

日 時／2021年8月～10月の会期中の土日に複数日

場 所／佐渡島内

参加料／おひとり様5,000円(予定)

ガイド／池田哲夫氏(新潟大学名誉教授)

吉田モリト(さどの島銀河芸術祭プロデューサー)

内 容／芸術祭の作品展示会場や、定期観光バスでは訪れることのない所を貸切バスで巡る「とっておきの佐渡」(ランチ・ガイド付き)を開催します。民俗学的視点や、佐渡の魅力をたっぷり楽しめる構成です。



SADOMMUNE 番組配信中!

自然、歴史、文化がいまも色濃く残る島、佐渡島。島内外のアーティストや研究者が、それぞれの視点で、あらためて島の魅力を見つめ直す番組「SADOMMUNE」。さどの島銀河芸術祭と連動した番組です。



サドテレビまたはYouTubeのSADOMMUNE[サドミューン]チャンネルからご覧いただけます



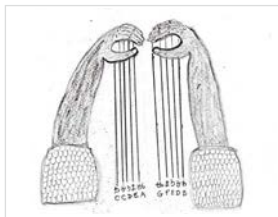
1

Wakarimasen

テリー・ライリー

●DOMMUNE Presents「LANDSCAPE MUZAK」PROJECT SADO #1

展示/9月中旬開始予定



私が最初に覚えた日本語のひとつが「わかりません」でした。この言葉を使い、メロディーを作り、そしてモニュメントのアイデアを思いつきました。大地から出た両腕にチャイムをぶら下げ、訪れた人はメロディーを奏することができます。旋律の順序は、左腕の親指からはじまり、右腕の親指側で終わります。どのように叩くかは鑑賞者の自由です。私が日本で作った音楽を表現するための、永続的なモニュメントです。

会 北沢展望台(佐渡奉行所駐車場前広場) 住 佐渡市相川坂下町
P 相川病院裏手の公営駐車場 WC 無

Terry Riley 1935年米国カリフォルニア州生まれの作曲家。1964年に発表した「In C」はミニマル・ミュージックの傑作として多くのフォロワーを生んだ。1つの音型を反復するなど様々な音楽的技法を開発し、今日のヒップホップなどに見られるループやサンプリング・ムーブメントの原点となっている。



DOMMUNEの最新プロジェクト「LANDSCAPE MUZAK」は、世界中の音楽家に日本列島を視察していただき、心に響いた集落にサウンドトラックを作成、現地でライブストリーミング、その世界観を彫刻化し各地域に音響モニュメントをインストールしていくプロジェクト。第一弾をテリー・ライリー氏が担当。

2

明るい部屋と暗い部屋 The sea where he came from

パスポート

ホンマタカシ



©Takashi Homma 看板制作:大原大次郎

およそ、600年近く前、世阿弥は京を追われ、この佐渡国に流刑されました。世阿弥は舟で、この海の向こうから、やってきたのです。

受 岩首談議所(佐渡市岩首573)にて展示会場をご案内します。

会場へ行く前に必ずお立ち寄りください。

会 藤九郎のわかめ小屋 住 佐渡市岩首

P 岩首漁港 WC 岩首談議所

Takashi Homma 写真家。写真集多数、著書に『たのしい写真 よい子のための写真教室』がある。2019年に「Looking Through Le Corbusier Windows」(Walther König, CCA, 窓研究所)を刊行。2021年は、太宰府天満宮境内美術館にて展示「鬼と白い馬」(4月-8月)、NonakaHillにて展示「mush room from the forest」(6月-7月)を開催。TARONASU galleryにて展示「New mushrooms from the forest」(7月-8月)を開催予定。



3

かみとかみとかみと

パスポート

ハ・ジョンナム



佐渡は、過去に産業が栄え、現在では自然農業が発達し、逆説的に未来と過去を感じられる「境界」の空間ででないだろうか。また本州と朝鮮半島の「間」に位置する。よって日本で生まれ韓国で暮らす日韓の「境界」にいる作家のアイデンティティと通ずる。佐渡に古くから伝わる「下げ紙・袴紙」を和紙と韓紙(Hanji)を合し、古い障子枠に貼りつける。上から見る五角形は「これとそれ」を繋ぐ鍵穴かもしれない。作家は境界が合わさり往来する空間で、この地への敬意を表し未来への希望を込めた儀式を行う。

会 古民家いろり宿 長蔵 住 佐渡市山田58-1 P 有 WC 有

JhonNam Ha 日本生まれの在日コリアン3世。長野県にて育ち、2017年、韓国に嫁に行く。まつしろ現代美術フェスティバルの作品を制作中、偶然、故郷(韓国の本籍地)近くの韓紙(Hanji)に出会い、先祖が導いた様だと感じる。Hanjiを主な材料としインスタレーション、パフォーマンス等行っている。



4

『わたしは真悟』展

模図かずお



©KAZUO UMEZZ/SHOGAKUKAN

登場人物「さとり」と「まりん」のような子供の頃の重要な感情や気持ち、現代社会における人間の悪意の存在について感じ取り、現在・過去・未来を考えるきっかけにと描かれた『わたしは真悟』。この不朽の名作の最終舞台は佐渡島であり、2018年、欧州最大規模の漫画の祭典「アングレーム国際漫画祭」で「遺産部門、JAPAN EXPO AWARD 漫画部門・文化遺産賞」を受賞した。

会 ニツ亀キャンプ場 住 佐渡市鷺崎1112 P 有 WC 有

Kazuo Umezz 1936年、和歌山県生まれ、奈良県育ち。『漂流教室』『まことちゃん』『おろち』『洗礼』『わたしは真悟』『神の左手悪魔の右手』『14歳』など、代表作多数。『漂流教室』は1975年に第20回小学館漫画賞を受賞。漫画家として以外にも、タレント、歌手、映画監督など、様々なジャンルで活躍している。



5

函数の部屋

山井隆介 + 長谷川億名



Photo:中川周

例えば、1万年後を生きる存在に、そこが汚染物質のある立ち入り禁止区域であることを伝えるにはどうすれば良いのだろうか?時間的に関わりを持ってない相手を危険物から守ろうとする行為は、人間に最大限可能な慈愛の表現かもしれない、我々も遥か彼方からの慈愛を受け取っているのではないか? この様な極端なコミュニケーションの思考実験を通して、どんな時代でも理解しうる超越的な言語作用を発見したい。独自の歴史を持ち、伝統文化や神秘的な自然、祭儀、場が残っている佐渡で、人類が絶えず行ってきた、呼びかけ、待ち、応答するという営為を確かめたい。

会 虫崎集落 旧虫崎分校 住 佐渡市虫崎

P 内海府トンネル脇広場(虫崎側) WC 虫崎公民館

パスポート

Ryusuke Yamai 1993年、新潟県三条市生まれ。画家。神話、科学、詩、歴史の他、生活の中で目にする現象を通して観測された「言語の非言語状態」「非言語の言語状態」を記憶させる装置として、ドローイングやオブジェを中心に制作。



Yokna Hasegawa 1985年、栃木県那須塩原市生まれ。映画監督。近作は、飛鳥時代の伝承と葛飾北斎の春画に登場する海女を同一人物と捉えた詩を映像化した『The Pearl Diver's Tale』(2020)、佐渡・相川の一夏を撮影した『First Memory of the Ocean』(2021)。

6

さどの島銀河芸術祭2021記念金貨「おかえりゴールド」

KUJUN



モデリング:柏原資亮 アシスタントデザイナー:佐藤圭珠

2020年から金のことが気になり始めた私。2021年さどの島銀河芸術祭からお声が掛かる!「佐渡には金山があるじゃないか!島外へ出て行ってしまった金を島に戻したい」という思いから始まった金貨づくり〇

会 きらりうむ佐渡 住 佐渡市相川三町目浜町18

P 有 WC 有

KUJUN 1971年神奈川県横浜市生まれ。2020年あたりから、徐々に孤独に対処できるようになってきたつもりでいる。音楽制作を主体に、国内外のアートシーンで、ライブ・DJなどの活動を行う。とくに環境音楽においては独自のセンスによる創作で、映画・ドラマ・CM、イベント等の音楽作品や、インスタレーション・アーティストへのオリジナル音楽制作を提供している。



7 佐渡、それぞれの戦争

梶井照陰



戦後 76 年が経ち、戦争体験者から直接お話を聞く機会は年々減ってきています。大正から昭和の始めに佐渡で生まれたお年寄りに、満州開拓やシベリア抑留、当時の佐渡での暮らしなどを伺いました。哲学者で詩人のジョージ・サンタヤーナは「過去を忘れるものは、必ず同じ過ちを繰り返す」といいます。戦後生まれが人口の 8 割を超えて久しくなった現在。展示を見た後、周りのお年寄りに語りかけるきっかけにもなれば幸いです。

会 大慶寺 長屋門 住 佐渡市金井新保乙1110 P 金井運動公園 WC 有

パスポート

Syojin Kajii 1976 年生まれ、佐渡市在住。1999 年高野山大学密教学科卒業。2004 年、写真集『NAMI』を発表する。本作で 2005 年度日本写真協会新人賞を受賞。佐渡島にて真言宗の僧侶をしながら、写真家としての活動をおこなっている。



8 状景を紡ぐ

早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室+小岩金網株式会社



鉱山資材を運んでいたレールや資材を持ち上げるクレーンなど、かつて存在した佐渡金山までの生産システムが欠けてしまった大間港を舞台に、佐渡金山までの歴史的な繋がりを想起させ、相川町の状景を紡ぐオブジェクトを提案する。大間港に現存する遺構群も作品の一部として含むように、佐渡金山で使われていた揚水機を基とした螺旋形が、かつての生産システムや佐渡金山を想起させる。

会 大間港 住 佐渡市相川柴町16 P 相川体育館裏 WC 無

パスポート

The Nobuaki Furuya and Yuri Fujii Laboratory at Waseda University and Koikawa Kanaami Co., Ltd.

2016 年度に設立し、建築の「資材」として考えられている金網を「素材」として見直し、多様な種類と特性を理解することで、金網に対する考え方を拡張し、その価値を再検討、再発見することを目的とする。金網を用いて、家具から建築までの間の身体スケールでの新しい空間デザインについての研究・提案を行う。



9 Manda-la

宇佐美雅浩



仏教絵画の「曼荼羅」のように、ある人物を中央に配し、その人を取り巻く世界を表すものや人を 1 枚の写真に収める「Manda-la」。宇佐美は、撮影地に何度も足を運び、現地の人々や対話を繰り返しながら、現代社会が抱える問題や目に見えにくい歴史を浮かび上がらせてきた。佐渡では、2022 年にかけてない大規模な撮影が予定されている。今回は、これまでの「Manda-la」から被曝地である広島や、紛争で分裂した南北の統一を夢見るキプロス島などを舞台とした作品に加え、佐渡での撮影の「設計図」も合わせて展示する。

会 未定 ※決定次第ホームページで告知します

展示 / 9 月下旬開始予定

Masahiro Usami 1972 年千葉県千葉市生まれ。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。仏教絵画の「曼荼羅」の如く、中心人物と、その人物の世界を表現する物や人々を周囲に配置し、1 枚の写真に収める「Manda-la」プロジェクトを 20 年以上続けている。様々な地域を舞台に、リサーチや対話を重ねて制作されるその写真は、地域の歴史や社会をも映し出す。



Photo: Marco Pavan / Gallerie delle Prigioni.

久保修 大阪 2010 Kubo Osamu, Osaka 2010 ©USAMI Masahiro Courtesy of Mizuma Art Gallery

10 兆

大輪龍志



制作:龍司 協力:さどきむち

土地の持つ記憶、気配をたよりに採り出した竹を紡ぎ構成。その造形は空を舞う鳳凰のように言えるが、鑑賞者の精神や角度によって形や意味を変化させる。自然人も同じ瞬間はなく、とどまらないことを訴えていて、鑑賞者の想像力に捕われて作品が完成する。

会 安養寺羽黒神社 住 佐渡市安養寺159 P 有 WC 有

パスポート

Tatsushi Owa 1990 年、埼玉県生まれ。アジア、ヨーロッパ、アメリカなどの海外経験を活かし、さまざまな空間構成を手掛けている。主に自然素材を使い制作。日常のありふれたものや不要とされたものから非日常のものを構築する。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、動線を重視し、人と自然の関係を模索しながら活動。のヒップホップなどに見られるループやサンプリング・ムーブメントの原点となっている。



★ flow

大輪龍志



制作:龍司、カルロス・エンヒケ・ヒキシマ・フラガ(佐渡バンブークラブ) 協力:岩首談議所

竹林の中に、現地の間引いた竹を持ちいて構成。竹のしなやかさを生かし、曲線を作ることによって、生命が宿る流動的な印象を表現。竹が複雑に絡み、過去-現在-未来を流れるように構成されていて、最後のラインが最初のラインと交わることで、始まりと終わりがまじり合い、際限なく廻り巡る。

※展示会場までの道が険しい道のため、鑑賞される方は歩きやすい靴・服装でお越しください。

受 岩首談議所(佐渡市岩首573)にて展示会場をご案内します。会場へ行く前に必ずお立ち寄りください。

会 岩首昇竜棚田内 P 岩首漁港 WC 岩首談議所

11 どんぶらこっこどんぶらこっこ♪

できやよい



佐渡島で江戸時代から沿岸漁業用に使われているたらい舟と艘(ろ)を、作品の支持体として作成した。

会 宿根木海岸 住 佐渡市宿根木563 P 有 WC 宿根木入口

Yayoi Deki 1998 年京都芸術短期大学卒業後「日本ゼロ年」(水戸芸術館)や「ヴェネチア建築ビエンナーレ」多数の国際展に参加。最近は何国をモチーフにした作品が多い。



12 Enso / Lifecycle

イーサン・エステス



佐渡島沖の漁船のデッキで見つけたロープから禅における書画のひとつ「円相」（円形を一筆で描いたもの）を思い制作した。輪はわびさびの世界観の表現であり、成長と新しさだけでなく、自然の劣化、不完全性、そして人生の終わりにも美を見いだす。使い捨てプラスチックへの依存を減らし循環型社会を目指すことで、人類は無意味な汚染をやめ、より調和した生活ができるよう試みる必要がある。

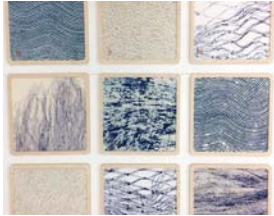
※集落の敷地内での展示のため、駐車や鑑賞は近隣に配慮して行ってください。

※展示場所は古い桟橋で老朽化しているため、足元や周囲に細心の注意を払ってご鑑賞ください。

会 沢根マリーナ 住 佐渡市沢根993-3 P 有 WC 無

13 Impressions of Sado Island

イーサン・エステス



佐渡で過ごした日々からインスピレーションを得たシリーズ作品。釣具屋で見た魚拓に影響を受け、浜辺で収集した古い漁網やネット、プラスチック破片、海藻を使って創作した。生物分解、永続性、海洋野生生物への汚染の影響について考えるメッセージを発信している。

会 HOSTEL perch 住 佐渡市河原田諏訪町4 P 有 WC 有

鑑賞時間 / 16:00~22:00 (臨時休業あり) ※会場の営業時間に準じます。

14 加茂湖サウンドインスタレーション

RAURA EMMA SUZUKI



加茂湖のほとり野外音響オブジェを制作し、佐渡島の自然の中に音楽を誕生させます。オブジェの白の色は、作家本人が、佐渡島に視察に訪れた際、佐渡島のイメージとして、深く印象に残った色の一つ。そして、自然の景色と音、そこにいる人々が、その空間の中で過ごす時間自体が作品そのものとなります。

<ポイント>レジャーシートやチェアーなど、リラックスして滞在できる、アイテムをぜひお持ちください。

会 樹崎神社 住 佐渡市秋津1577 P 有 WC 有

15 サウンドインスタレーション「箱」

RAURA EMMA SUZUKI



加茂湖の西と東で、音と空間をコンセプトに作品を展示する。西では、野外音響オブジェを制作し、佐渡島の大自然の中に音楽を誕生させ、東では、船小屋を箱と想定し、箱の中に音と固定化された作品と自然の景色を作る。どちらも自然の景色と音、そしてそこにいる人々がこの空間の中で過ごす時間自体が、作品そのものとなる

会 caMoco café 湖ASOBI 住 佐渡市原黒553-28

P 有 WC 有

16 One Earth

渋田 薫



「世界は音によって繋がっている」という考え方に基づいて、音楽や自然音から得られた感覚を絵画やインスタレーションに変換する。

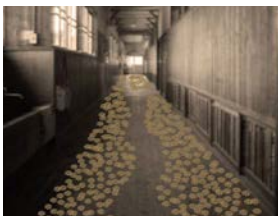
The world connected by sound and music links us. "If Mozart is the one who composes music to link the terrestrial world to the celestial world, I am the one who undertakes him to propagate it with my painting."

会 新保八幡宮 住 佐渡市金井新保乙1109-1

P 金井運動公園 WC 金井運動公園

17 天の川

本田青海



竹の編地を使い佐渡の美しい星空をイメージした作品。小学校として使われていた場所を利用してもらい、佐渡の竹に触れて子どもが楽しめる、また大人も昔の気持ちに戻れるような空間を作りたいと思います。星々のように変わらないようであり、子どもから大人になり少しずつ変化していく自分の気持ちを見つめなおす機会になればと思います。

会 学校蔵 住 佐渡市西三川1871

P 有 WC 有

Ethan Estess 1989年生まれ。カリフォルニアを拠点とする芸術家・海洋科学者であり、彫刻や版画を通して、人間活動が海洋に及ぼす影響について表現している。現在、カリフォルニア州サンタクルーズでアートスタジオとギャラリーを運営している傍ら、モンレー湾水族館において太平洋クロマグロの生態学の研究を行っている。



パスポート

RAURA EMMA SUZUKI フランス、日本を拠点に活動する日本の音楽家・クリスタルシンギングボウル奏者。世界遺産や国際シンポジウムなど世界の様々な舞台上で公演を行うほか、楽曲制作・提供、空間音楽プロデュースなどにも携わる。演奏活動のみならず、クリスタルを使った音響作品や、音響彫刻、音で空間に絵を描く視覚芸術作品など現代美術家としての創作活動も行う。



Kaoru Shibuta 北海道の大自然でのびのびと育つ。音楽、自然音のリサーチを元に共感的に絵画へ変換する。これまでにバリエロナ芸術文化センター Espronceda、サンタモニカ美術館、ロシア国立現代アートセンターNCCA、BankART Stationなど世界各地のアーティストインレジデンスで制作発表を行っている。



Seikai Honda 佐渡市(旧両津市)出身。2012年 伝統文化と環境福祉の専門学校竹芸科卒業。卒業後、竹工芸家 畠山青堂氏に師事。2013年 第60回日本伝統工芸展新人賞受賞。2019年 第59回東日本伝統工芸展奨励賞受賞。現在、日本工芸会正会員。



18

世阿弥の彼岸ボート ゴールデンクルージング

寺田佳央



佐渡という“彼岸”に流刑された世阿弥の書齋をイメージした作品。秋の“彼岸”の時には、棚田は黄金に波打ち、木を曲げて梁を作ったドーム型の書齋は、ボートとなって“彼岸”へと漕ぎ出す。(制作年：2016年)

● 岩首談議所(佐渡市岩首573)にて展示会場をご案内します。

会場へ行く前に必ずお立ち寄りください。

● 会 岩首昇竜棚田 ● 住 佐渡市岩首

● P 岩首漁港 ● WC 岩首談議所

Kao Terada 美術家。1975年静岡県生まれ。武蔵野美術大学院油絵コース修了。パリ国立美術学校に留学。武蔵野美術大学パリ賞にて再度パリ、その後ベルリンに滞在制作。主に絵画の制作に取り組む。近年は、素材と支持体の特性から新たな筆触や物質の表現を導き出し、主に水にまつわるイメージを使って、生物、力学、時間などをテーマに制作している。



19

共生社会促進事業 佐渡アール・ブリュット展

佐渡アール・ブリュット



今年で5回目をむかえる佐渡アール・ブリュット展。障がいをもつ方々が、独自の感性を発揮し、佐渡の風土の中で作り上げた作品の数々をお楽しみください。会期中、作品の入れ替えもあり、何度も楽しめるプロジェクトとなります。

● 会 アートサロン 和(やわらぎ) ● 住 佐渡市立野333 ● P 有 ● WC 有

鑑賞時間／11:00～16:00(定休日:土・日・祝日) ※会場の営業時間に準じます。

Sado Art Brut 2016年、島内の素晴らしい才能を持つ作家を島内外に紹介したいという思いから、障害福祉に携わる有志10名ほどで実行委員会を結成。協力員として、障害福祉サービス事業所のメンバーも多数。作家は島内の障害を持つ方々に協力を依頼し、現在までに30名を超える作家の展示を行っている。



20

大学連携プロジェクト 宮本常一写真で歩く鉾山町・相川 展示／9.10～開始予定

生活文化研究フォーラム佐渡



日本各地を旅してまわった民俗学者・宮本常一(1907-81年)。その旅の途上で「メモ代わり」に撮った写真は約10万点にのぼる。昭和30年代から亡くなる前年まで佐渡に通った宮本は、約4000点の写真を残した。展示では宮本写真とともに、彼の写真を片手にさまよった学生たちの調査をリメイクして、鉾山町・相川のイメージの世界を巡る。

● 会 京町茶屋 ● 住 佐渡市相川八百屋町5

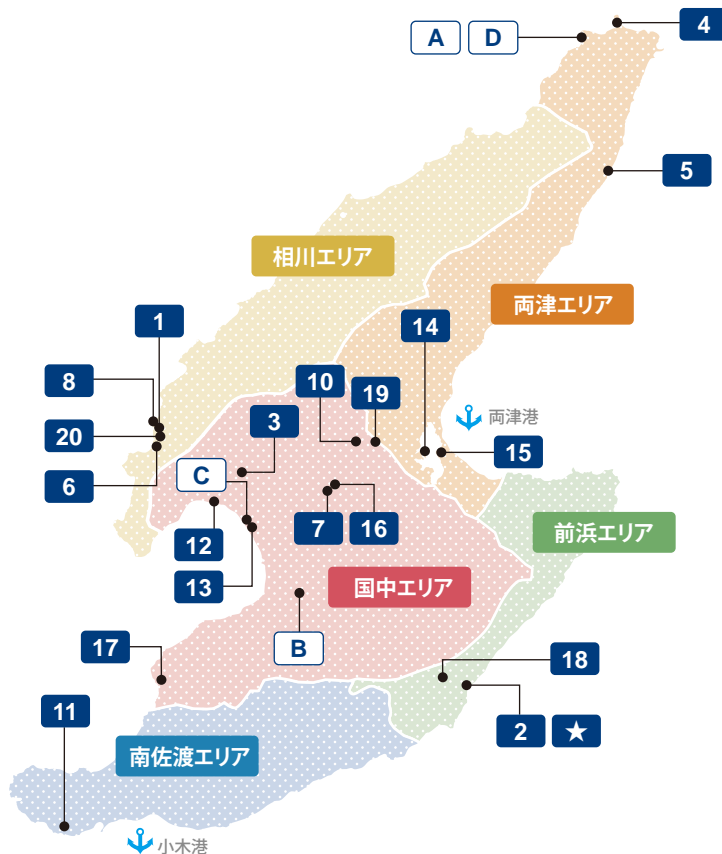
● P 相川病院裏手の公営駐車場 ● WC 有

Culture Research Forum Sado 小西公大(東京学芸大学)、門田岳久(立教大学)、杉本浄(東海大学)の3名の教員とともに、所属大学以外の学生も加わった複合的な編成のチーム。2016年より昨年度の中断を除いて、「宮本常一写真プロジェクト」を継続実施している。



● 受付 ● 会 会場 ● 住 住所 ● P 駐車場 ● WC トイレ

● パスポート ● **パスポート提示**(パスポートマークがない会場はパスポートの提示なしで作品をご覧ください。)



EXHIBITION AREA MAP

● 1 ～ 20 展示

● A ～ D イベント



会場がマッピングされた
Googleマップはこちら

【新型コロナウイルス感染症対策についてお願い】

- 風邪のような諸症状(発熱、咳、喉痛、腹痛など)のある方、または体調がすぐれない方は、参加をお控えください。
- 入場時に検温を実施させていただきます。
- 常時マスクをご着用ください。
- ご来場の際の手洗い・消毒をお願いします。
- フィジカルディスタンスの確保にご協力ください。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からスタッフの指示があった場合は、ご協力をお願いします。

作品鑑賞パスポート



【デジタルパスポート】と【紙のパスポート】の2種類がございます。
作品展示をご覧の際は、どちらかをご購入いただき受付でご提示ください。
パスポートにはスタンプラリーがついています。

一般 ¥3,000 高・専・大 ¥2,000

前売券(～8/7(日)まで販売) 一般 ¥2,000 高・専・大 ¥1,000
※デジタルパスポートのみ

※中学生以下 無料

●デジタルパスポートご購入方法

スマートフォンをお持ちの方向け。
いつでも購入でき、スムーズに入場できます。
デジタルパスポートの購入はこちらから
<https://ticket.jorudan.co.jp/sado-art/>



ご利用にはアプリが必要です

3800万ダウンロード突破!!
乗換案内アプリの決定版

iOS版 Android版

●パスポート(紙)

[販売場所]

佐渡観光案内所

〒952-0014 佐渡市両津湊353番地(佐渡汽船ターミナル内)

南佐渡観光案内所

〒952-0604 佐渡市小木町1935-26

caMoco café 湖ASOBi

〒952-0016 佐渡市原黒553-28

お問い合わせ

さどの島銀河芸術祭・総合案内

TEL:050-5305-5135 (10:00-17:00)

E-mail:info@sado-art.com

www.sado-art.com



[助成]



公益財団法人福武財団

令和3年度日本博を契機とする
文化資源コンテンツ創成事業

2021年度 地域振興助成
「アートによる地域振興助成」



企業による芸術文化支援の
寄付を募集しています。

詳細はこちらから
「芸術・文化支援サイトかるふあん!」



[協力] JA佐渡/榊スノーピーク/ヒューマン・キャピタル・コンサルティング(株)/佐渡青年会議所/尾畑酒造(株)

早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室+小岩金網株式会社/榊近藤組

[後援] 新潟日報社/佐渡汽船(株)/(一社)佐渡観光交流機構/榊ゴールデン佐渡/サドテレビ/BSN新潟放送/NST新潟総合テレビ

TeNYテレビ新潟/UX新潟テレビ21/朝日新聞新潟総局/読売新聞新潟支局/エフエムラジオ新潟/小学館

[協賛] SUN FRONTIER



SNOW PEAK



響く島 SADO

